２０２４年３月期第２四半期
決算説明会

2023年11月24日

極東貿易株式会社
KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.
TOKYO, JAPAN

目　次

・２０２４年３月期第２四半期業績に関する報告

・中期経営計画
「ＫＢＫ プラスワン ２０２５」の取組みと進捗

・２０２４年３月期業績見通し

・配当政策

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

２０２４年３月期第２四半期業績に関する報告

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

連結P/L

（単位：百万円）

	2023年3月期 第２四半期累計	2024年3月期 第２四半期累計	前年同期比
売上高	19,694	20,163	468
売上総利益	3,988	4,236	247
販管費	3,791	3,896	105
営業利益	196	339	142
経常利益	607	652	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	405	465	60

売上高・売上総利益

▼中国関連事業、ばね関連事業で一部伸び悩み
▲海外プラント向け機器事業が好調を維持
▲炭素繊維関連事業堅調
▲建機向けねじ関連事業続伸

営業利益

▲営業活動活発化に伴う販管費増加も売上総利益の増加により増益

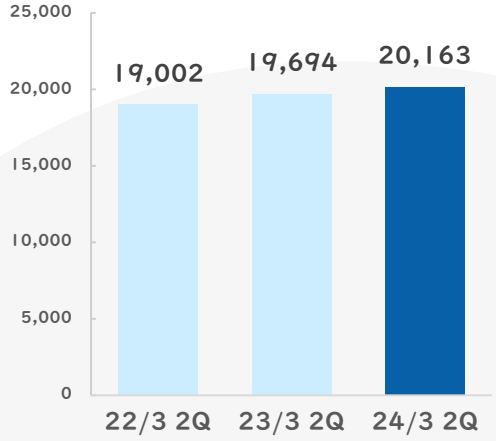
経常利益

▲為替差益、持分法投資利益は減少も営業利益増加により増益

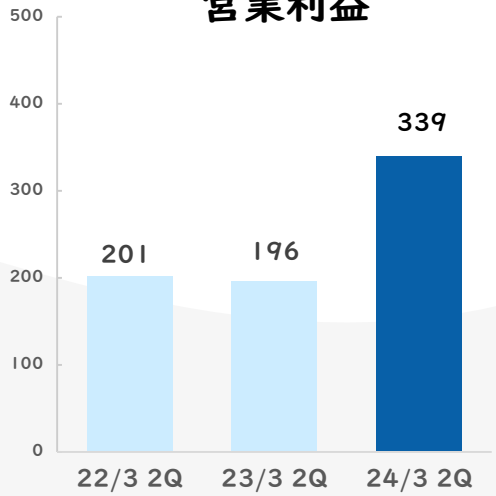
© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

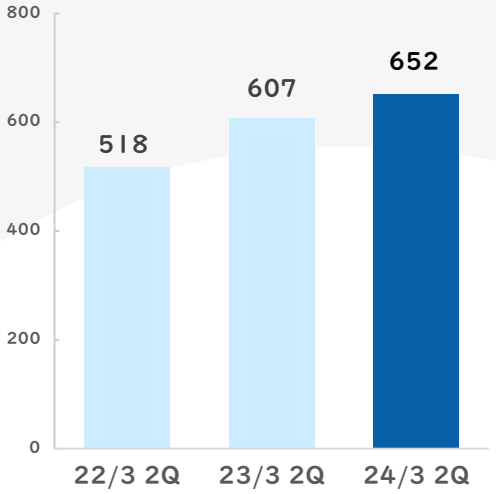
売上高



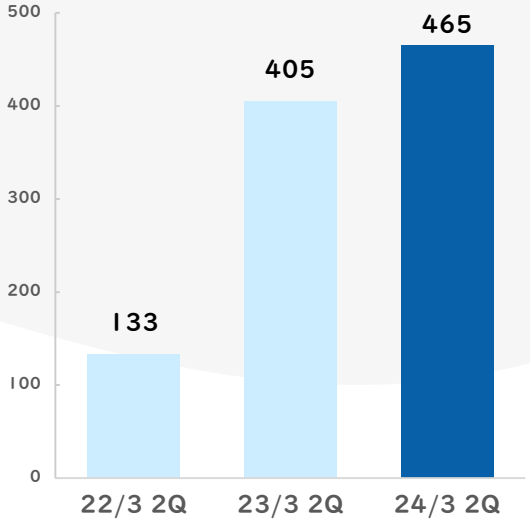
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.
TOKYO, JAPAN

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

事業ポートフォリオを最適化し、事業の「選択と集中」と部門横断的な新規事業の育成を加速させることを目的として2022年4月に営業組織を再編

営業組織の再編

- 基幹産業関連部門
- 電子・制御システム関連部門

→ **産業設備関連部門**

産業インフラ関連事業

鉄鋼・化学メーカーなど基幹産業向け各種機器・設備を取り扱う

資源・計測機関連事業

海洋等資源の探査・掘削
洋上風力発電関連
航空宇宙分野
自動車向け計測・検査機器を取り扱う

- 産業素材関連部門 → **産業素材関連部門**
- 機械部品関連部門 → **機械部品関連部門**

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

事業の種類別セグメント　産業設備関連部門

（単位：百万円）

連　結	2023年3月期 2Q累計		2024年3月期 2Q累計		前年同期比			
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高		売上総利益	
産業設備関連部門	4,969	1,103	4,957	1,321	▲11	▲0.2%	+218	19.7%

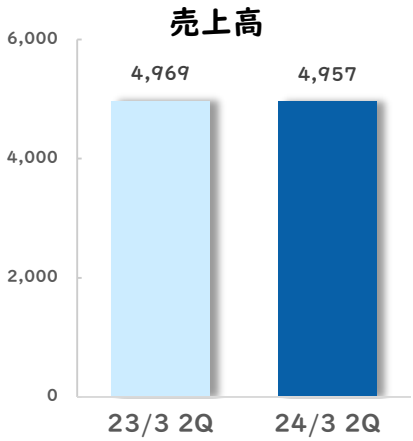
前年同期に比べ減収増益

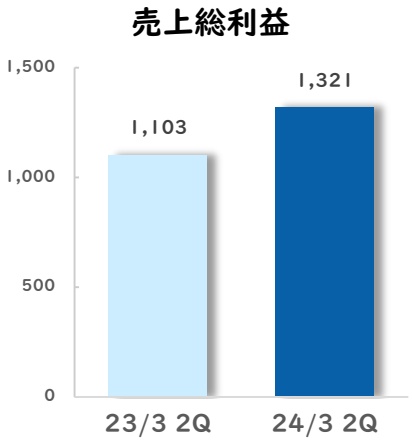
産業インフラ関連事業

▼国内鉄鋼・化学プラント向け大型案件なく売上高は低調に推移
▲海外プラント向けは好調を維持

資源・計測機関連事業

▲資源開発関連事業は堅調に推移





© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

事業ポートフォリオを最適化し、事業の「選択と集中」と部門横断的な新規事業の育成を加速させることを目的として2022年4月に営業組織を再編

営業組織の再編

基幹産業関連部門 → 産業設備関連部門

電子・制御システム関連部門

産業素材関連部門 → 産業素材関連部門

機械部品関連部門 → 機械部品関連部門

機能素材関連事業

国内外自動車部品用樹脂・塗料
炭素繊維、同関連副資材を取り扱う

生活・環境関連事業

食品業界向け資材・設備
バイオプラスチック等環境保全商材を取り扱う

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

事業の種類別セグメント　産業素材関連部門

（単位：百万円）

連　結	2023年3月期 2Q累計		2024年3月期 2Q累計		前年同期比			
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高		売上総利益	
産業素材関連部門	6,160	1,036	6,202	947	+42	0.6%	▲89	▲8.5%

前年同期に比べ増収減益

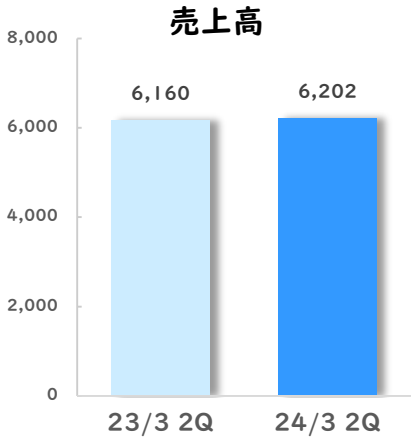
機能素材関連事業

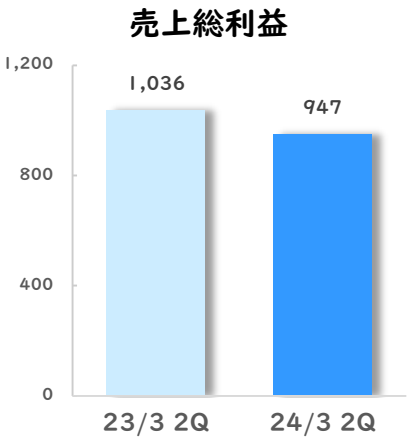
▲炭素繊維副資材は、海外向けを中心に堅調

▼中国向け自動車部品用樹脂・塗料が低迷

生活・環境関連事業

▲食品業界向け資材に持ち直しの兆し





© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

事業ポートフォリオを最適化し、事業の「選択と集中」と部門横断的な新規事業の育成を加速させることを目的として2022年4月に営業組織を再編

営業組織の再編

- 基幹産業関連部門 → 産業設備関連部門
- 電子・制御システム関連部門 → 産業設備関連部門
- 産業素材関連部門 → 産業素材関連部門
- 機械部品関連部門 → 機械部品関連部門

ねじ関連事業

ヱトー株式会社の事業で、ねじや各種締結部品、金属部品、成形品等を産業機械向け、住宅設備向け等様々な産業分野に提供

ばね関連事業

サンコースプリング株式会社の事業で、主力製品の定荷重ばねを中心にばね応用機器、研磨用治具等様々な産業分野に提供

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期第2四半期業績に関する報告

事業の種類別セグメント　機械部品関連部門

（単位：百万円）

連　結	2023年3月期 2Q累計		2024年3月期 2Q累計		前年同期比			
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高		売上総利益	
機械部品関連部門	8,564	1,848	9,002	1,967	+438	5.1%	+118	6.3%

前年同期に比べ増収増益

ねじ関連事業

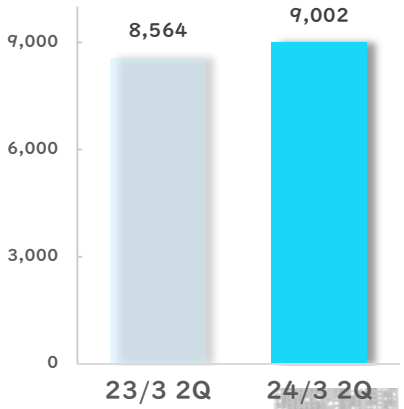
▲建機向けが引き続き好調に推移

▲自動車・車両向けが半導体不足の影響から回復し堅調

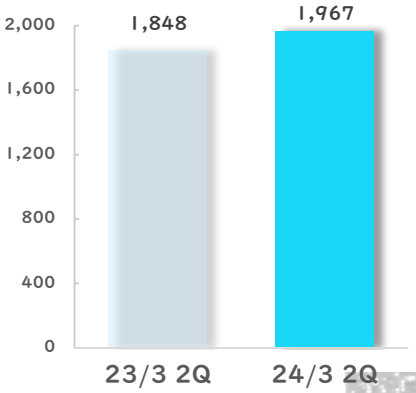
ばね関連事業

▼自動車向け、中国向け定荷重ばね特需が一服低調に推移

売上高



売上総利益



© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.
TOKYO, JAPAN

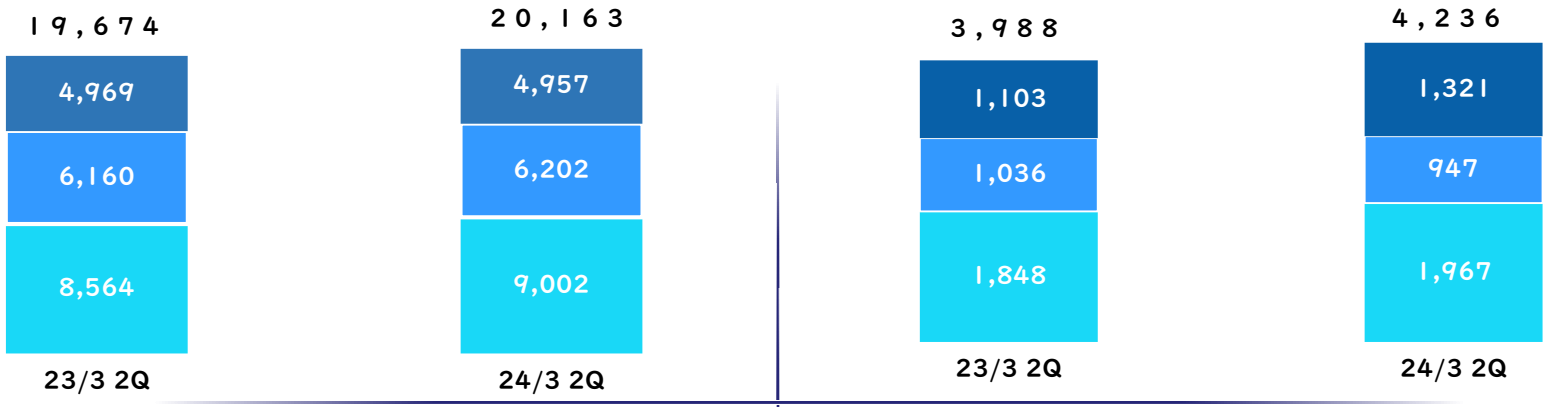
2024年3月期第2四半期業績に関する報告

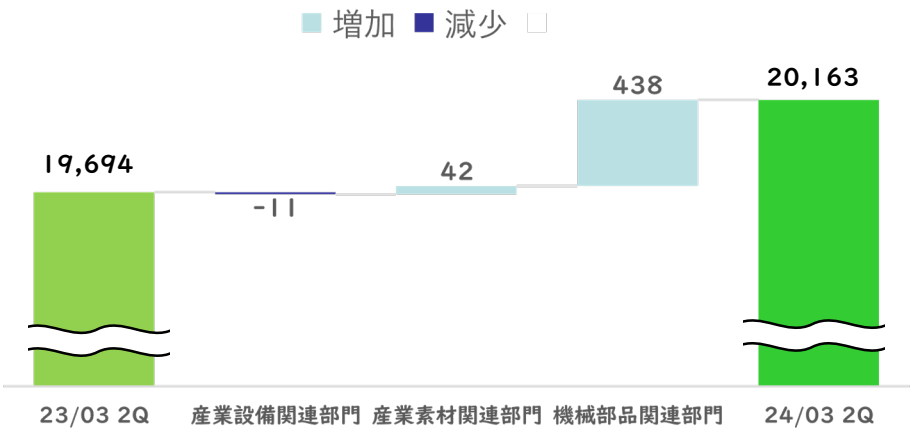
売　上　高

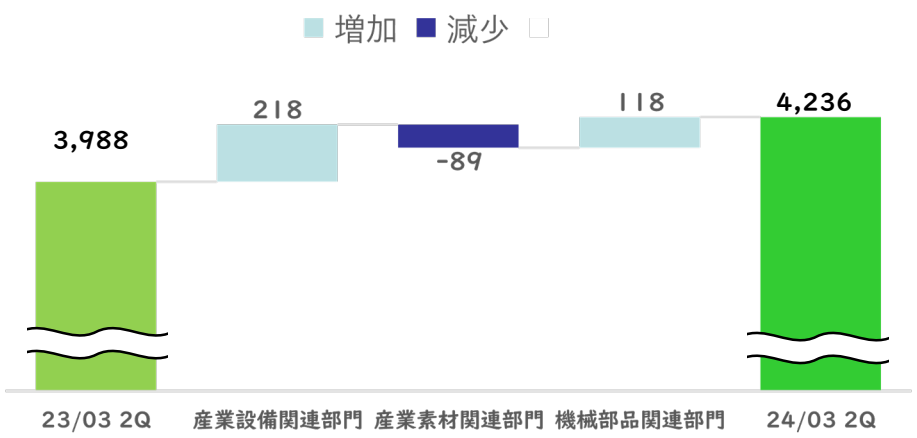
売上総利益

■産業設備関連　■産業素材関連　■機械部品関連

（単位：百万円）







© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.
TOKYO, JAPAN

中期経営計画
「KBK プラスワン2025」の取組みと進捗

「KBK プラスワン 2025」の取組と進捗

KBKプラスワン2025における3つの重点施策

◆サステナブルな社会を実現するための新分野における事業展開と投資実行

◆株主価値に資する資本政策の実行

◆パラダイムシフトの中で「想像」し「創造」できる人材の育成

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

新分野における事業展開と投資の実行

再生可能エネルギー分野：洋上風力発電関連事業

再生可能エネルギー

➢ **2022年1月、オランダTWD B.V.社の協力を得て**

株式会社TWD Japanを設立

・大手ゼネコン向けに風車建設のための大型架台を納入するなど事業が本格化し昨年度**連結子会社化**　受注数も増加傾向

今後は開拓した商材を基にメンテナンスなどサービス事業の拡大を目指す

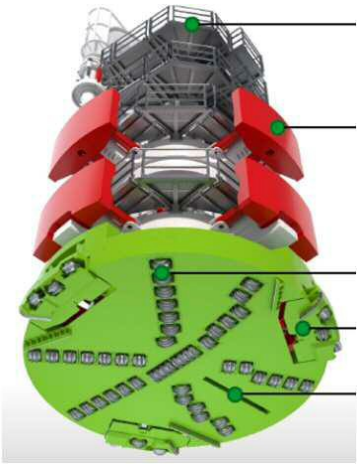
© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

新分野における事業展開と投資の実行

再生可能エネルギー

再生可能エネルギー分野：洋上風力発電関連事業

洋上に設置、レーザーを利用した
風況観測用装置（フローティングライダー）



風力発電の支柱基礎となる
モノパイル（大口径鋼管杭）設置用
海底掘削装置

波によって揺動する船舶から洋上構造物へ人、モノを安全に運ぶための
洋上アクセスシステム（ギャングウェイ）

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

新分野における事業展開と投資の実行

再生可能エネルギー分野：洋上風力発電関連事業

再生可能エネルギー

船舶から優先で遠隔操作
メンテナンス、ケーブル埋没など
水中作業を行う無人水中ロボット（ROV）

風力発電建設計画地で、
鳥の飛翔データ等を収集する
２４時間、視界が悪い環境でも運用可能な
鳥類調査用レーダーシステム

新分野における事業展開と投資の実行

産業向けDX・IoT分野：自動運転システム関連事業

英国自動運転トップサプライヤーAB Dynamicsグループと協業
大規模製造現場構内や鉱山での搬送・物流用
特殊大型車両に追設可能な自動運転機器を開発
国内での完全無人運転デモが完了、開発は順調
今期中の受注を目指す

3年以内に売上高10億円程度を見込む

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

新分野における事業展開と投資の実行

バイオプロダクツ分野：廃プラ問題を解決に導く事業

バイオ プロダクツ

➢ Eco-One（生分解促進添加剤）

- 食品包装用フィルム、農業用資材など多岐に亘る用途
- 発泡スチロール成型品やアパレル向け繊維においても注目
- ASTM（米国試験材料協会）試験で良好な結果に至る顧客多数

➢ マスバランス式バイオポリプロピレン

- 化粧品容器向けや工業用フィルム向けなどで好評価
- 原料代替によりCo_2排出量の大きな削減が期待できる

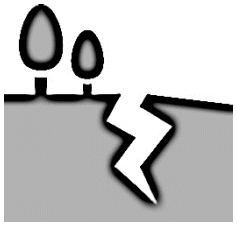
BIO-FED
GREEN COMPOUNDS

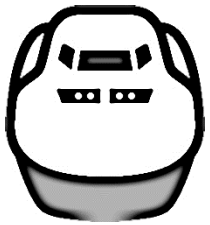
3年以内に売上高5億円規模を目指す

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

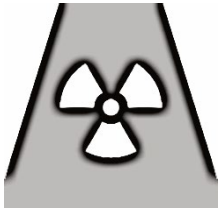
新分野における事業展開と投資の実行

防災・減災分野：地震・振動計測機器事業





長年に亘る地震・振動計測機器販売
保守サービスの知見を基に
グループ会社の日本システム工業株式会社で
当該機器開発・製造事業を取り込み
原発、公共交通機関、大型ビル向け、
火山観測用等に販売拡大を目指す



当事業を推進し、防災・減災を通して
サステナブルな社会を実現

計画最終年度までに売上高6億円程度を見込む

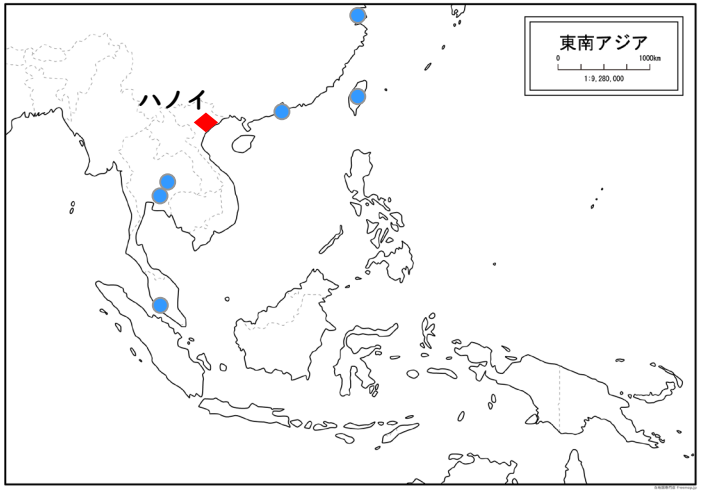
© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

新分野における事業展開と投資の実行

海外事業分野：ヱトーのベトナム現地法人設立

【中期経営計画目標】

顧客からの高い品質要求に対応可能なグローバルサプライチェーンを構築、品質管理体制を強化することで海外展開を総合的に支援事業機会の創出に貢献する



ヱトーの東南アジアネットワーク

本年12月にベトナムのハノイ市に
現地法人ETO Solutions Vietnam Co., Ltd.を設立
海外事業の拡大とグローバルサプライチェーン
強化を目指す

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

「KBK プラスワン 2025」の取組と進捗

KBKプラスワン2025における3つの重点施策

◆サステナブルな社会を実現するための新分野における事業展開と投資実行

◆株主価値に資する資本政策の実行

◆パラダイムシフトの中で「想像」し「創造」できる人材の育成

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

株主価値に資する資本政策の実行

資本コストや株価を意識したグループ経営

- 経常利益の水準向上はもとより、資本収益性と資本コスト、つまりROEが株主資本コストを上回ることを追求することで、株価を重視した経営に尽力
- この一環として昨年度より期末決算説明会において資本コストを開示

現状では当社の利益水準の低さからROEは株主資本コストを下回り、同業他社からも遅れをとっていると認識

当社指標

自己資本比率	50.4%（2023年9月末現在）
株主資本コスト	6.84%（2023年3月末現在）
WACC	5.87%（2023年3月末現在）
ROE	4.4%（2023年3月末現在）
PBR	0.91倍（2023年9月末現在）

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

株主価値に資する資本政策の実行

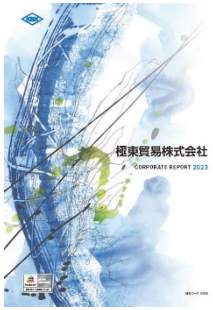
資本コストや株価を意識したグループ経営

実現に向けた取組の実行

- 「KBKプラスワン2025」の3つの重点施策に沿い、洋上風力発電事業など積極的な事業投資を着実に実行
- ROEは2020年3月期より年々増加傾向
- 株価を意識し、資本効率性を高めるため、2022年3月期からの3年間において配当性向100%の株主還元を実行
- 資本効率を高めるため、保有投資有価証券を2022年3月期以降順次売却

「KBKプラスワン2025」の成長戦略を遂行
持続的な成長と株主価値の向上に取り組む

※詳細については弊社コーポレートレポートをご参照ください
→右記表紙アイコンをクリック



© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

「KBK プラスワン 2025」の取組と進捗

KBKプラスワン2025における3つの重点施策

◆サステナブルな社会を実現するための新分野における事業展開と投資実行

◆株主価値に資する資本政策の実行

◆パラダイムシフトの中で「想像」し「創造」できる人材の育成

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

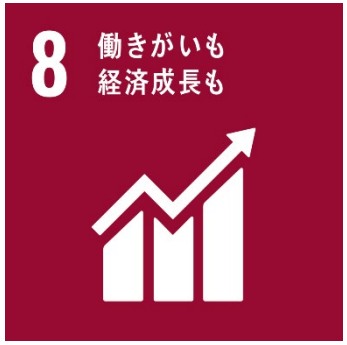
「想像」し「創造」できる人材の育成

人材育成プラン

今年度も創造性を生み出しやすい企業文化の構築を目指し、幅広い従業員層に対する研修プログラムを実施

人材育成・社内環境に関する指標

指標	目標
有給休暇取得率	2025年3月期までに75%
健康診断受診率	2024年3月期までに100%
女性管理職に占める上級管理職の割合	2026年3月期までに50%



従業員持株会に対する20%の奨励金支給など
従業員エンゲージメントを高めるとともに働きがいのある職場環境を維持
従業員自らが自己の能力を最大限発揮できる環境を提供していく

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

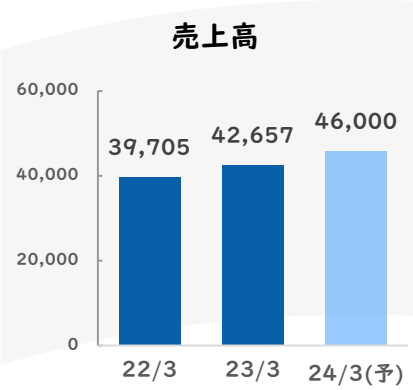
2024年3月期業績見通し

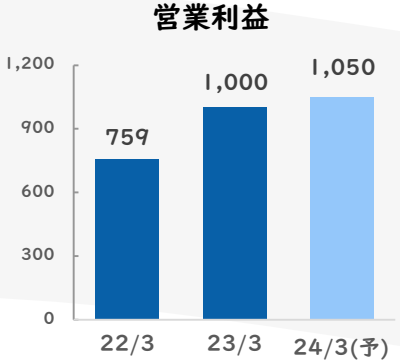
2024年3月期業績見通し

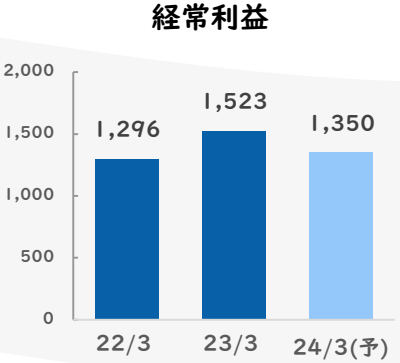
2024年3月期 連結業績予想

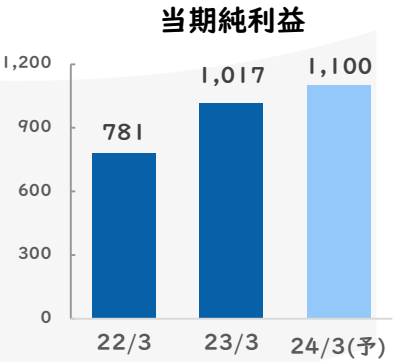
（単位：百万円）

連結	2023年3月期	2024年3月期		対前期増減	
	実績	2Q実績	通期見通し		
売上高	42,657	20,163	46,000	+3,342	7.8%
売上総利益	8,901	4,236	9,300	+398	4.4%
営業利益	1,000	339	1,050	+50	5.0%
経常利益	1,523	652	1,350	▲173	▲11.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,017	465	1,100	+83	8.1%









© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期業績見通し

2024年3月期事業セグメント別　業績見通し

産業設備関連部門

（単位：百万円）

連　結	2023年3月期 通期実績		2024年3月期 通期見通し		前期比			
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高		売上総利益	
産業設備関連部門	11,591	2,878	13,237	3,123	+1,645	+14.2%	+244	+8.5%

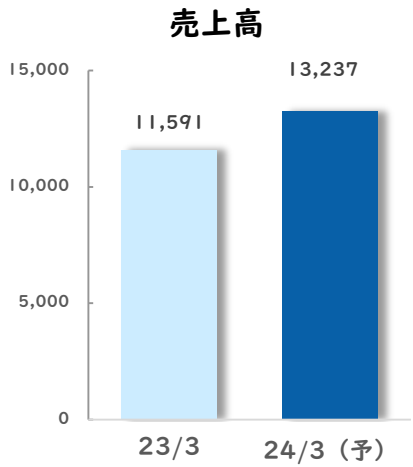
前年度に比べ増収増益

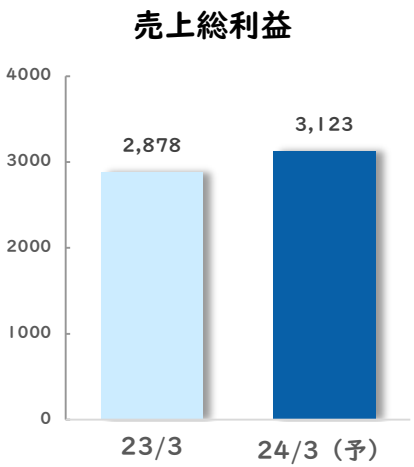
産業インフラ関連事業

▲産業インフラ関連事業は年度後半に復調
▲インドにおける事業も堅調
▲地震・振動計測機器事業は生産体制が整備、後継機開発も順調

資源・計測関連事業

▲海洋資源開発に関わる業界が確実に復調
▲自動車検査装置事業も安定的に推移





© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.
TOKYO, JAPAN

2024年3月期業績見通し

2024年3月期事業セグメント別　業績見通し　産業素材関連部門

（単位：百万円）

連　結	2023年3月期 通期実績		2024年3月期 通期見通し		前期比			
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高		売上総利益	
産業素材関連部門	13,039	2,023	14,291	2,127	+1,251	+9.6%	+103	+5.1%

前年度に比べ増収増益

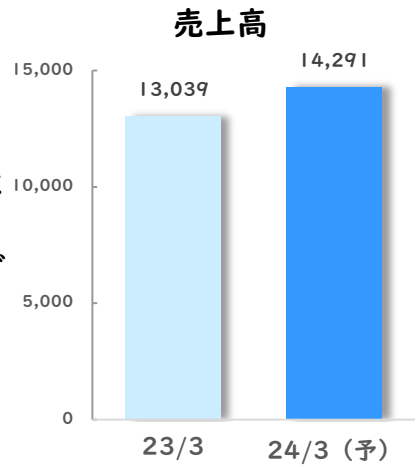
機能素材関連事業

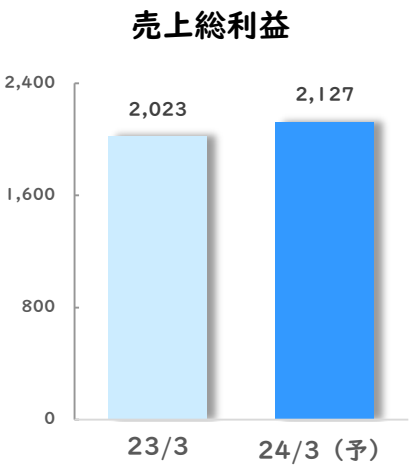
▲炭素繊維副資材関連は航空機業界復調、堅調に推移

▼自動車部品用樹脂・塗料・部品は中国向けなど厳しい状況が続く

生活・環境関連事業

▲食品向け資材関連がコロナ禍の影響から回復、仕入価格上昇に伴う販売価格調整が進み堅調





© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

2024年3月期業績見通し

2024年3月期事業セグメント別　業績見通し　機械部品関連部門

（単位：百万円）

連　結	2023年3月期 通期実績		2024年3月期 通期見通し		前期比			
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高		売上総利益	
機械部品関連部門	18,026	3,999	18,472	4,050	+445	+2.5%	+50	+1.3%

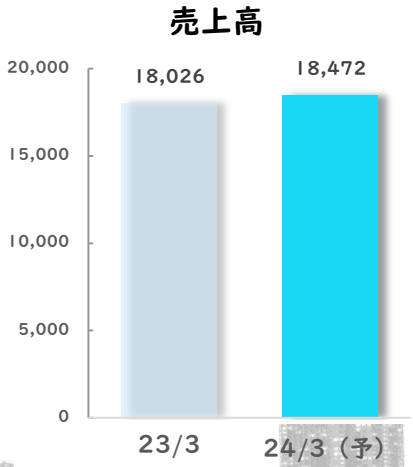
前年度並みに高水準を維持

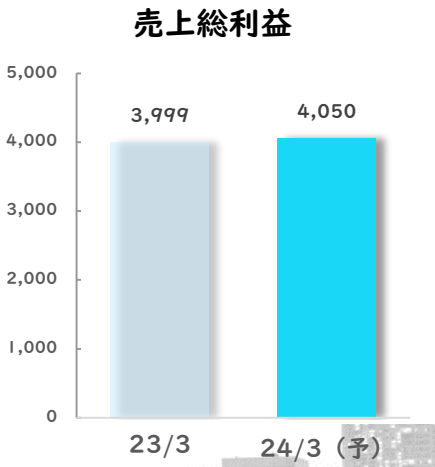
ねじ関連事業

■産機向けは中国景気減速の影響懸念
▲建機向け、車両向けなどは引き続き高水準

ばね関連事業

■欧米市場開拓や販売価格調整を推進
▼自動車向け、中国向け事業に伸び悩み





© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

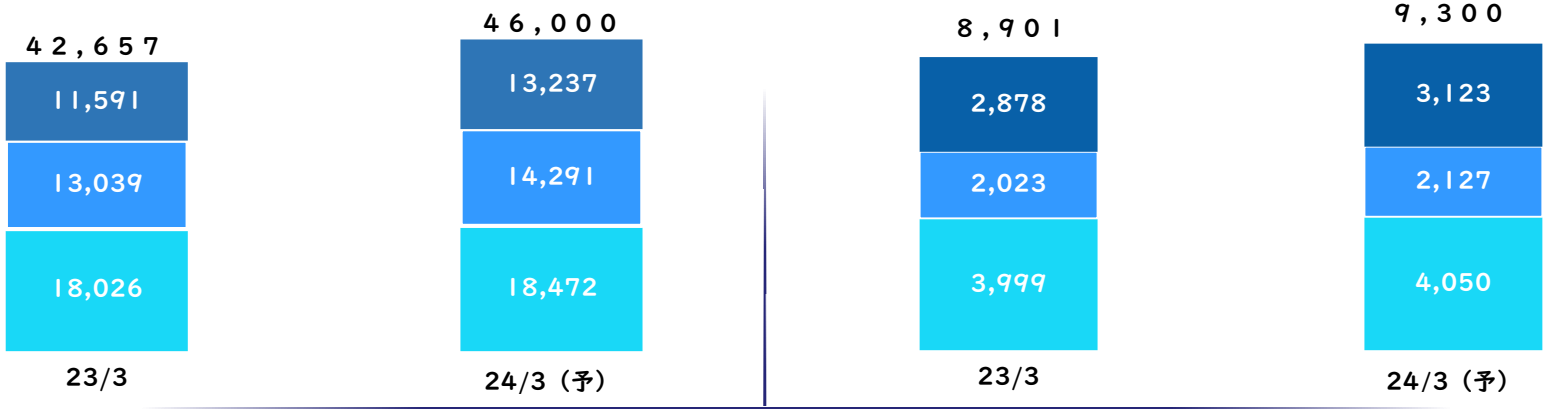
2024年3月期業績見通し

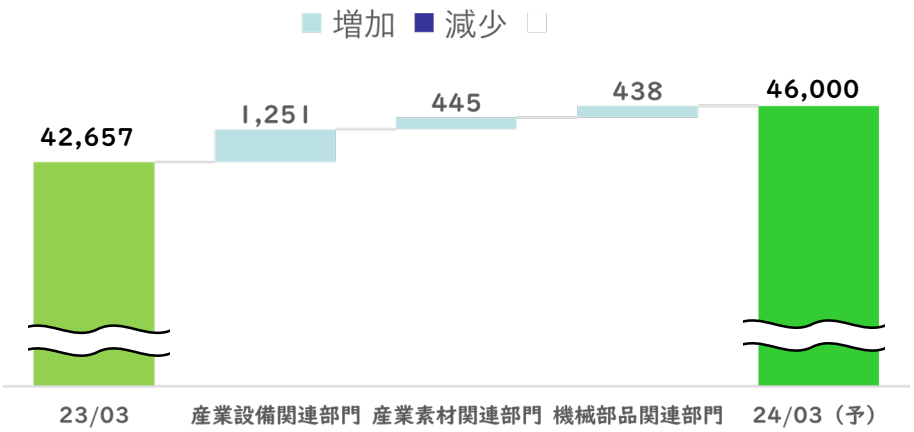
売　上　高

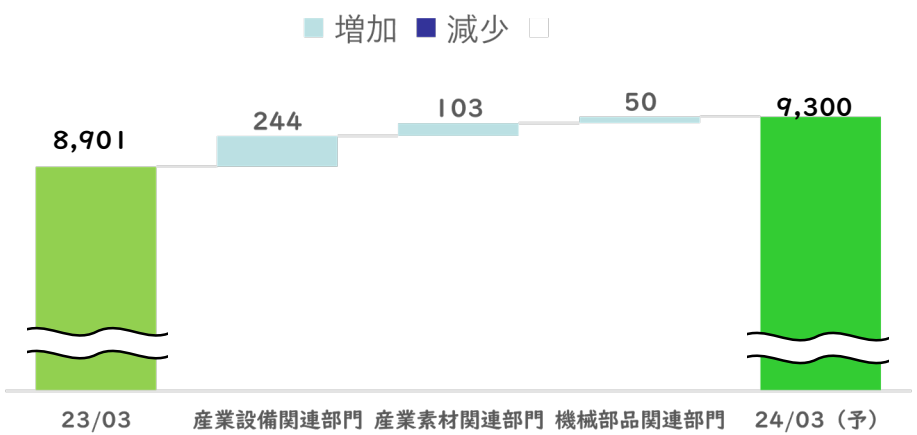
売上総利益

■産業設備関連　■産業素材関連　■機械部品関連

（単位：百万円）







© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.
TOKYO, JAPAN

配当政策

配当政策

極東貿易の利益配分の基本方針

株主の皆様への継続的な成果の還元と企業価値の持続的向上を実現のため

適正な資本政策の下、将来の事業展開と財務状況、収益動向などを総合的に勘案した配当を実施

「KBKプラスワン2025」の配当政策

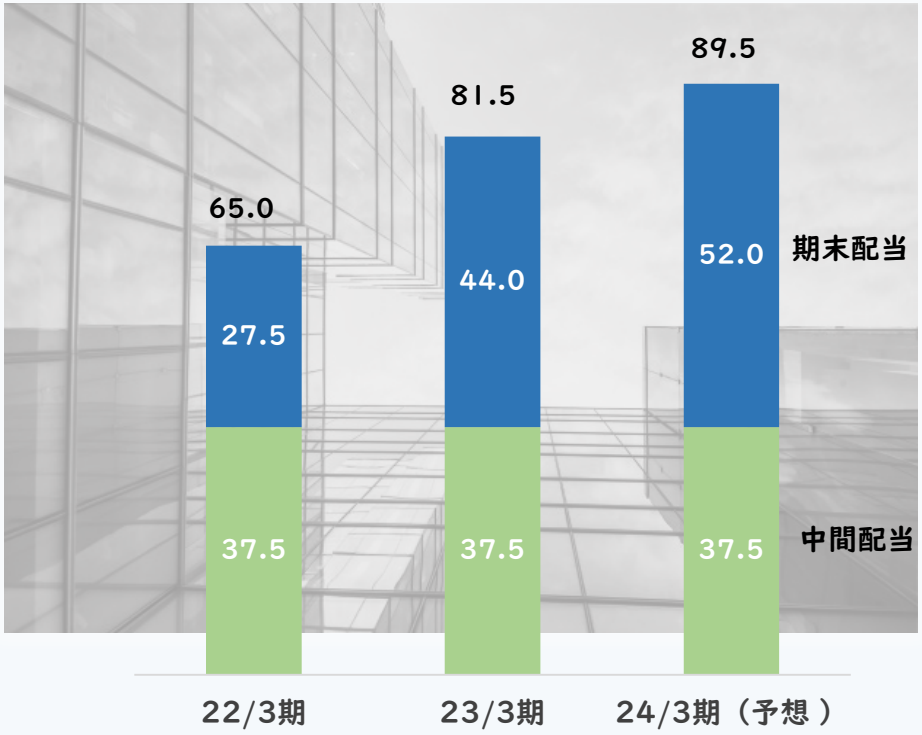
２０２４年３月期までの３年間の配当性向100%とするなど積極的な株主還元を実施

2025年3月期以降

計画のPhaseⅡを迎え、より多くの経営資源を事業の拡大等に投入

増益を実現し、高水準な株主還元の継続を指向

１株当たり配当金の推移（円）



※2022年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの年間配当金については、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。

© 2023 KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

極東貿易株式会社

見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。